



光星 実戦で成長



【ハ学光星 十六日】3回ハ学光星2死満塁、松田郷が中前2点適時打を放ち、0とする。長根

3回戦

ハ学光星00310101000
工大10001001000 25

(光) 奈良、横山、福屋、
浅田、森木、中澤
(工) 西村、小黒、磯嶋
▽本塁打 福田2(工)

工大1反撃及ばず

攻守とも修正、序盤主導権

だが、3回戦の勝利にも仲井基監督は「ここその場面で一本が出ず、決め切れぬ。本塁打による失点も、バッテリー間のやりとりで防げたはず」とまだまだ不満げ。中澤主将は指揮官の指摘に先を見ず「戦い戦うのみ。試合を重ねるごとに成長したい」とさらなる向上を誓った。

(林泰輔)

ハイライト

2回戦で4失策だった守備も、この日は安定した。扇の要として2度盗塁を刺すなど好プレーが光った中澤主将は「球際の守備をしっかりと、大事に一つのアウトを取ろうと確認し合ってきた成果」と話した。

攻守で粗さが目立った2回戦から一転、ハ学光星が危ない試合運びで8強入りを決めた。攻めては序盤で主導権を奪った。守つては無失策で、2度のソロ本塁打以外は相手に三塁を踏ませなかった。中澤英明主将は「2回戦まで駄目だったボールの見極め、球際の守りを修正できた」とうなずいた。

三回、安打と3四死球で1点を挙げ、なお2死満塁の好機で打席に立った松田郷。「コンバクトに鋭く、大きい当たりは狙わない」と、フルカウントの6球目を中前にはじき返し、2点適時打とした。好投する相手左腕に強烈な先制パンチを浴びせた。

▽2塁打 田中、中澤(光)
▽試合時間 2時間14分
(球審)石田、塁審)階上、滝田、小田
【評】ハ学光星は三回2死満塁から、四球押し出しと松田の中前適時打で計3点を先制。四、六回にも1点ずつを加えた。投げては5投手が堅守に支えられ、反撃を2点にしのいだ。工大1は福田が2打席連続で日本塁打を放つなど食い下がりつつも及ばなかった。